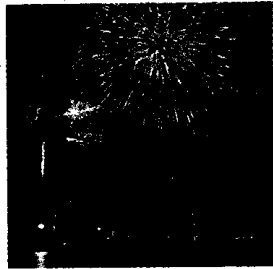


東京湾花火大会、従来の往復ハガキによる抽選方式に

昨年の花火大会は、商店街連合会に費用負担を転嫁したため、区民から「ハガキの抽選にもどして」など2百件を越す苦情が寄せられました。



予算委員会で、いのくま区議は、この間の提案もふまえさらに改善を迫りました。①抽選方式を従来の往復ハガキによる抽選方式に戻せ。②開催・運営は中央区や近隣区と協議せよ。③区商連への負担押しつけやめよ。④区内会場警備は区で責任を持ち、仮設トイレを改善せよ。

これに対し区は、抽選方法はハガキによる申し込みに改善する(区商連の費用負担も解消)。会場の仮設トイレ設置なども改善すると答えました。

愛宕トンネルの壁崩落、ネットの応急措置実施 一日も早い抜本改修を

(答弁) 現在応急措置した。来年度予算要求し、抜本改修めざす

今年1月8日、愛宕トンネルで壁面が崩れ落ち、9日の昼近くまで交通ができなくなりました。幸いにも、物損やけが人はありませんでした。日常的に利用する方は、もし、人が通行しているときに事故が起こったら大変だったと、不安の声を上げています。

いのくま区議は、事故の翌日現地調査し、被害を防ぐための応急措置を求めました。現在、壁が崩れ落ちるのを防ぐ、応急のネットが張られました。

本格的な改修が急がれます。いのくま区議は、予算委員会で、4月以降、補正予算を組むなどして一日も早い抜本改修を要求。区は、来年度予算要望し、抜本改修めざすと答えました。

毎年の港区の収支黒字

(百万円以下切り捨て)

1992年度	27億7千万円
93年度	24億8千万円
94年度	21億4千万円
95年度	17億8千万円
96年度	22億8千万円
97年度	31億4千万円
98年度	24億2千万円
99年度	72億3千万円

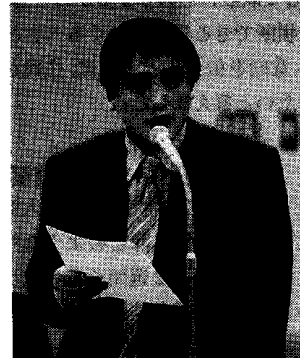
基金残高 610億7千万円 (積立金)

森ビルなど再開発の 200億円以上 補助金は予定を含め

港区はトップクラスの財政力
「特養ホームをつくって」「介護保険の減免を充実して」「保育園も待機児多くて入れない」「商店や中小企業への支援を」「学校に冷房を」など、区民の願いを実施する力は十分にありま
す。
森ビルなどへの莫大な補助金にお金を使うのではなく、区民のためにこそ豊かな財政を生かすべきではないでしょうか。

高い固定資産税 都の減免をさらに拡大すべき 減免の改善と期間延長など都への意見書提案し実現

東京都は固定資産税の減免を発表しました。四〇〇㎡以下の非住宅用地のうち二〇〇㎡までの部分を二〇%減額するものです。いのくま区議と党区議団は、高すぎる固定資産税を減額させるため、「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」とともに、東京都への不服



予算委員会で質問する いのくま区議

審査請求など、毎年百数十名の区民と運動してきました。
「まるで固定資産税を払うために働いているようなもの。何故固定資産税は下がらないのか」などの区民の声を審査委員会に訴え、減額要求してきました。
赤坂の「みすじ通り」の基準地の評価が、実際の売買取引の約2倍で、その是正を求める裁判に区民とともに取り組み、東京地裁で、「都の審査委員会は審議を放棄したに等しく、判決は違法」という、画期的な原告全面勝利判決が言い渡されました。固定資産税の基になる基準地などの評価が正しくないと、司法も判断したのです。
区民は、減免実施を喜んでいますが、同時に、減免を継続させることや、対象を拡大すること、都の責任で対象者に適用させること等々、問題点や今後の課題が残されています。

いのくま区議は、議会として、国や都へ以上の改善へ意見書提出を求めました。この提案が実り、国・都へ意見書を提出しました。
さらに、いのくま区議は、区民大会を今こそ開催するべきと要求しました。

介護保険の減免制度の改善を

介護保険制度で高齢者福祉は充実どころか矛盾が噴出してきています。区の保険料、利用料の軽減対象者は、予想を大きく下回っています。党区議団は、保険料・利用料の軽減策を、預貯金額三百万円以下という条件を削除すべき。医療費、家賃など生活実態を考慮せよと求めました。
区長は、条件を見直すつもりはない。対象拡大は考えていないと、冷たい態度に終始しています。

こんにちはは 日本共産党
まさかかす
です
区政報告

No.17

2002年4月

〒105-8511

日本共産党港区議員団

港区芝公園1-5-25
電話 357812945
FAX 357812947
メール jcp_minato@vedoor.com

無料なんでも相談会 4月は 11日18時~(株)きかんし会議室。18日 18時30分~芝病院 事前にご予約ください。

いのくま区議の繰り返しの要求で

西武鉄道が破壊・移設した文化財 桂昌院宝塔が確認される



確認された 桂昌院の宝塔

いのくま区議は、芝公園から埼玉・不動寺に移設された文化財の中で、五代將軍綱吉の母で三代家光の側室である、桂昌院の銅宝塔について、専門家による確認を求めています。予算委員会でも質問。

昌院の宝塔と確認したと答えました。いのくま区議は、現地の教育委員会と西武鉄道にその旨を知らせ、保護することにも、表示を求めました。区教委も、「そのように対応する」と答えました。

徳川四百年を具体化し、歴史・文化の伝承と商工発展をはかるべき

いのくま区議は、千代田区で計画されている徳川四百年事業を港区でも開催するべきと質問。江戸の子どもたちがどんな遊びをしていたかなどの体験や、おともも学べるような港区ゆかりの歴史講座、史跡めぐりなど、歴史や文化を伝承し、商工業の一助となるような取り組みを、港区でも具体化すべきと質問しました。

これに対し区側は、四百年事業は考えないが、歴史・文化を伝承するような企画は考え実施したいと答弁しました。千代田区では、徳川四百年事業を、江戸開府四百年にあたり、江戸・東京が蓄積した歴史や文化を振り返ると同時に、地域の活性化や産業の発展、学術の振興を図る目的で行ないます。

千代田区の計画は、歴史文化の体験発掘事業や美術館・博物館などをネットワークして、美術、工芸、写真、歴史、生活文化展開催。講座も、江戸の歳時記、粋いなせ。浮世絵、江戸前の食文化、能・狂言、落語、

環状二号线計画

(各弁) 区民を訪問するなどして直接声を聞いていく

五〇数年にわたって、都市計画の網がかけられ、家やビルの建て替えもできず、権利は極端に制限されてきたのが、環状二号线計画地区内に住み営業してきた方々です。東京都は事業の完成時期について、平成二三年と先延ばし、不安はさらにつのっています。

五〇数年前、最初に計画が浮上したときは二〇歳代、三〇歳代だった方々が、七〇歳、八〇歳と高齢をむかえ、亡くなる方も出ています。

今、大事なことは、東京都が、権利者、関係者の生活・営業再建などの願いにそった対応の責任を持つことです。都の担当者は数年たてば配置換えになりますが、計画地区に住

み営業している方々は、これまでも、これからも生活し営業していくのです。都の説明会では、「生活再建はどうなるのか」、「営業は続けられるのか」、「財産価値はどうなるんだ」、「五〇年以上権利を制限させられて、最後は追い出されてしまうのか」などなど、不安と怒りの質問がほとんどです。

いのくま区議は、こうした声も紹介し、都まかせでなく、区の担当部署が直接関係区民を一件一件訪問し、話を聞き、その声を都へぶつけるべきだと質問しました。区は、「都と一緒に区民を訪問するなどして直接声を聞いていく」と答えました。

御成門駅のエレベータ 4月15日頃より使用OK

区議会で、いのくま区議が繰り返し要求してきた御成門駅のエレベータ設置工事が完了し、現在検査中です。検査が終われば4月15日ごろより使用できます。引き続き地上までエレベータ設置めざし頑張ります。

汐留展を計画し、子どもたちへは、パンフ無料配布を

汽笛一斉新橋をで有名な汐留遺跡ですが、駅舎なども区民・関係者の努力によって復元されます。汐留展を開催するとともに、子ども達にも分かりやすいパンフレットなど発行し、学校には無料配布を求めました。

その結果、来年5月に郷土資料館で汐留展を開催。子ども達にも分かりやすいパンフレットを作成し学校に無料配布が実現することになりました。

保育園の運動会 土日に開催が実現

保護者の願いである運動会の土日開催について、昨年につづき実現を求めました。

区は、この間の検討で土日開催を決めた園があること、今後の検討でも土日開催を決める園がある、と答えました。

汐留計画。新橋・東新橋間を横断できる、歩道設置を

汐留開発について、新橋の商店街の方から、新橋3・4丁目と東新橋の動線を確保して欲しいという要望が寄せられました。

信号をつけて国道を横断できる歩道をつくるべきと質問。

区は、東京都などへ意向を伝えるとともに、住民からの要望があれば活かしていきたいと答えました。

学校の備品・用具、区内業者への支払い期間改善を

学校関係の用具などの発注、区内中小企業・個人商店への支払期間の短縮について、昨年の質問以降どのような指導をしてきたのか。支払は10日とかせめて2週間くらいに出来るよう改善にむけ、機会あるごとに改善提起を学校側にすべきと、質問しました。

区教委も機会あるごとに学校側に提起すると答えました。



元気に運動会

待機児が、全員入れる保育園を 区が責任をもって保育園を設置せよ 待機児は222人も

保育園の待機児は、区全体で、三年前七六人、二年前九一人、昨年一一九人、今年は一十月時点で二二二人と急増しています。

区は、これだけ待機児がいるのに、保育園をすることをせず、逆にみただけ保育園を廃園にしてしまいました。与党会派や区長は、「民間に任せられるものは民間へ」とたびたび主張します。

いのくま区議は、民間保育園は、入会金が三万円〜五万円。月極め保育は十万円から二〇万円にもおよび実態を示し、区が責任をもち保育園をつくり待機児全員入園させるのは当然と要求しました。港区は、森ビルなどへの再開発事業には、二〇〇億円以上の補助金を出す一方で、「保育園に入りたくない」という保護者の願いには背を向けています。区の姿勢を変えさせるため皆さんと一緒にがんばります。

花見、江戸時代の人物、江戸建築など開催します。講習会も、俳句、川柳、三味線、尺八、小唄、陶芸、そばうち、豆腐作り、鉛細工、伝承遊びなど企画されています。